

# 環境市民厚生常任委員会

日時 令和3年6月21日（月） 午前10時00分～  
場所 全員協議会室

---

## 1 開 議

## 2 事務局日程説明

## 3 議案審査

### 【こども未来部】

- (1) 報告第1号 令和3年度亀岡市一般会計補正予算（第1号）
- (2) 第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算（第2号）

### 【環境先進都市推進部】

- (1) 第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算（第2号）

### 【市民生活部】

- (1) 報告第2号 亀岡市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- (2) 報告第3号 亀岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- (3) 第3号議案 亀岡市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

## 4 討 論～採 決

## 5 陳情・要望について

- (1) 緊急事態宣言下での子育て支援施設の開館についての陳情

## 6 行政報告

- (1) (仮称) 環境政策情報発信・交流拠点施設基本構想策定に向けたワークショップの開催について
- (2) かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定について
- (3) マイナンバーカードの再発行枚数について

## 7 その他



令和3年6月3日受理  
(持参)

件名 緊急事態宣言下での子育て支援施設の閉館についての陳情。

### 陳情の要旨

亀岡市内の屋内子育て支援施設である「かめまるランド」「かめおかっこひろば」「ゆりかごひろば」を、緊急事態宣言を理由に閉館しないことを求める。

### 陳情の理由

COVID-19 の感染拡大により緊急事態宣言が京都府下に1年で3回発令され、亀岡市内の屋内子育て施設が閉鎖された。4月25日から閉鎖していたが、6月1日に再開となったが、子育て支援施設の重要性を理解しての措置とは考えられず、子育て施設が緊急事態宣言下で再度閉鎖するのではと特に未就園児を抱える子育て家庭は危惧している。本陳情では、再度緊急事態宣言を理由に閉鎖することのないよう、求めるものである。

上記子育て支援施設は、2020年6月に再開して以来、継続して人数制限、時間制限、予約制などの感染対策を行っていた。2021年4月25日以降緊急事態宣言再発令により閉鎖したが、閉鎖の措置は、適切な感染対策を行って閉鎖する事が可能であるにも関わらず、その努力を怠っていると言える。

これまで COVID-19 の子どもの感染は70%が家庭内によるもの(変異株も同様)、子ども(10歳未満及び10~19歳)の死者は日本国内では0であることが明らかになっており、逆に子どもや若い世代や女性の自殺が増えてきていること、うつ病・虐待・引きこもりの増加が社会的に問題視されている。

2021年1月の緊急事態宣言発令時、子育て支援施設は閉鎖していたが、それにより感染が拡大した事実もなく、今回、閉鎖したことにより感染が抑制された事実もない。

これらを勘案すると、子育て支援施設の一時閉鎖は、子どもや子育て家庭、子育て世代を感染から守るものではなく、行き場を奪い、親子の心身の健康を害し、家庭の負担を過度に増やし、ただ単に追い詰めるものである。

また、幼保や学校は開校しているにもかかわらず、年齢や親の就労状況から子育て支援施設しか利用できない未就園児の遊び場を奪うのは、未就園児を抱える家庭の居場所を奪い、それらの家庭を切り捨てるものである。

コロナ禍で実家や地域コミュニティを頼りにくい現在であるからこそ閉鎖し

ておくべき場である。

「人流の抑制」「変異株への注意」が必要と説明されているが、亀岡市内サンガスタジアムでは、5000人収容での有観客試合や聖火リレー等の大人数のイベントが行われており、京都府外および亀岡市外からの人流があることを考慮すると、それよりもはるかに少ない人数に制限され、適切な感染対策を行っている子育て支援施設が閉館されることに対して整合性が取れない。

京都府の要請では「福祉施設」は閉鎖しないとの旨であり、京都府内のどの自治体でも緊急事態宣言を理由に子育て支援施設が閉館されているわけではなく、舞鶴市は人数制限をして閉館を継続していた。また、京都府より陽性者数も重症病床使用率も高い兵庫県内の明石市は、1日あたりの陽性者数も亀岡市より多いが、閉館している。

緊急事態宣言を理由に閉館するのではなく、未来に生きる子育て支援の重要性を理解した上での措置であると考えられる。

親の就労状態によって支援の有無を区別することなく、幼稚園や保育園同様子育て支援施設を開館することで、働いておらず家庭で育児を行っている家庭に対しても支援の責務を果たすよう要望したい。

子育て支援施設は、子育て家庭にとって親子の過度な密着による虐待の未然の防止、子どもの健全な発達に役立ち、未来の亀岡市を担う育成に欠かせない。

「SDGs 未来都市」、「子育てしやすい街」が機能するため、子育て支援施設について、緊急事態宣言を理由に閉館しないことを求める。

2021年6月3日

亀岡市議会議長 福井英昭 様

陳情者 (代表)

住 所 亀岡市余部町榎又 23-24  
氏 名 名田中由佳

〔 法人の場合は、その名称及び  
代表者の氏名 〕

令和3年6月21日

環境市民厚生常任委員会 提出資料

- (1) (仮称) 環境政策情報発信・交流拠点施設基本構想策定に  
向けたワークショップの開催について
  
- (2) かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定について

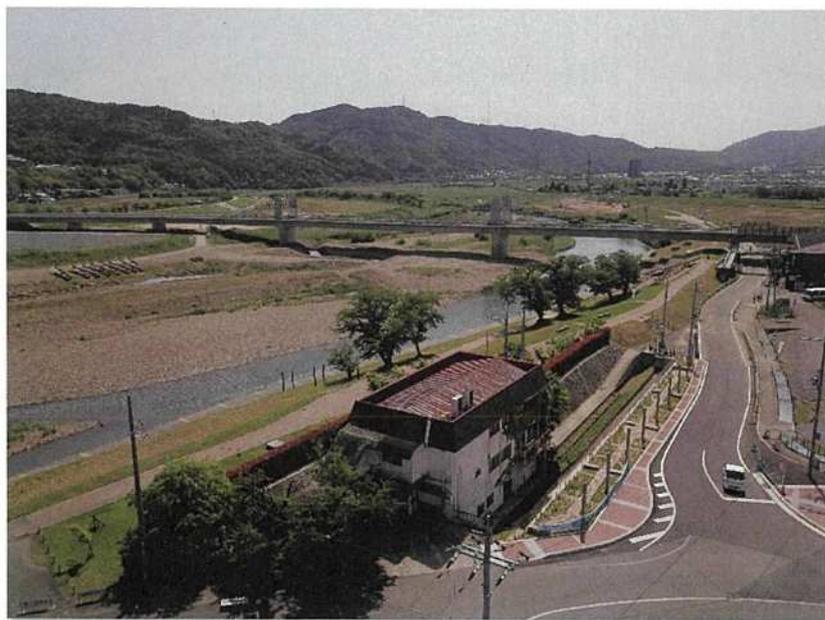
環境先進都市推進部

(仮称) 環境政策情報発信・交流拠点施設

## 基本構想策定に向けたワークショップの開催について

環境政策課

- 目的 亀岡市保津町下中島地内で計画している(仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設の整備にあたり、施設の機能や設備等について広くアイデアを集め基本構想を策定することを目的とする。
- 参加者
- ・市民等
  - ・関係団体
  - ・周辺施設関係者等
- (計約50人を想定)
- 日時
- ・第1回 令和3年7月4日(日) 14時~17時
  - ・第2回 令和3年8月9日(月・祝) 14時~17時
- 開催場所
- ・第1回 整備計画地(亀岡市保津町地内)及び亀岡市役所
  - ・第2回 亀岡市役所
- 開催内容
- ・第1回 現地視察、情報共有等
  - ・第2回 グループワーク等





## 設置目的

亀岡市は、2018年12月13日、亀岡市議会とともに「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言では、「自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現する。」と掲げており、「海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかける」ことや、「世界最先端の『環境先進都市・亀岡』のブランド力向上」を目指すことを目標に定めています。この目標を達成するため、各種施策を広く発信するとともに、「環境」の下に多くの人々が集い、交流し、つながることで「環境先進都市・亀岡」が世界に広がることを目的とした拠点施設を設置するものです。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を発端とした新たな生活スタイルの変革も視野に、サテライトオフィス※1などの機能も付与し、「環境」と「経済」、「社会」の三側面が繋がるSDGs未来都市の実現も目指します。

## 基本構想 (案) ※ワークショップによりアイデアを募り、策定します。

目的を実現するため、次の4つの機能を持った施設の整備を目指します。

- 【創業支援機能】 亀岡市内で生まれる環境関連事業の支援を目的に、貸しスペースの提供などによる「インキュベーション※2」を行う。
- 【情報発信機能】 亀岡から生まれたアップサイクル※3製品である「HOZUBAG」など、環境に配慮したイノベーション※4製品を発信するための「ワークショップ※5」や「テストマーケティング※6」を行う。
- 【交流拠点機能】 眼前を流れる「母なる川 保津川」から環境に思いを巡らせ、人々が集い語り合う交流の場を設置する。
- 【活動拠点機能】 環境関連団体などの活動拠点となる、リモートワーク※7が可能な「コワーキングスペース※8」を設置する。

## 施設概要

拠点施設は、本市の環境施策の源流となる「母なる川 保津川」が眼前に広がる絶好のロケーションにあって、亀岡の玄関口であるJR亀岡駅、令和2年に新たに誕生した集客施設であるサンガスタジアム by KYOCERA、本市の三大観光の一つである保津川遊船をつなぐ動線上に整備を計画しています。

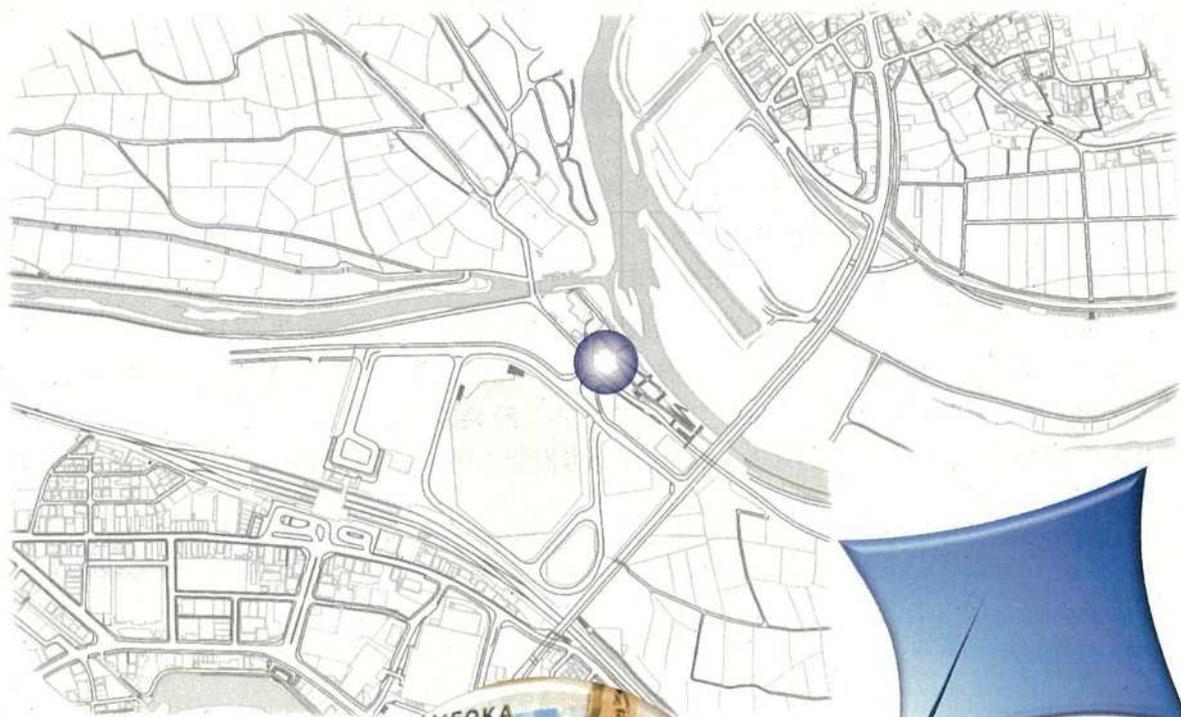
- 【土地】 所在地 亀岡市保津町下中島 59-1  
地目 宅地  
地籍 175.20㎡
- 【建物】 構造 鉄骨造ルーフィング葺3階建  
床面積 1階：110.85㎡/2階：113.13㎡/3階：110.85㎡  
※大規模改修または建て替えを要す

## 整備計画

今後、次のスケジュールに沿って整備を進めます。

- ▶令和3年度 基本構想策定、建物調査、実施設計
- ▶令和4年度 施設整備工事 (大規模改修または建て替え)

※1 サテライトオフィス…本社などから離れた場所に設置する事務所 ※2 インキュベーション…新たなビジネスを育てること ※3 アップサイクル…使わなくなったものに、デザインなどの付加価値を持たせ、新しい製品に生まれ変わらせること ※4 イノベーション…革新・一新 ※5 ワークショップ…体験型講習会 ※6 テストマーケティング…試験販売 ※7 リモートワーク…遠隔勤務 ※8 コワーキングスペース…共同で仕事をする場所



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**



世界に誇れる環境先進都市を  
目指す亀岡市は、2020年SDGs  
未来都市に選ばれました。

## かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定について

### 1. 概要

亀岡市の未来づくりに向けて、持続可能な開発目標(SDGs)の「環境・経済・社会の三側面の統合的取り組みの推進」というビジョンのもとに、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組むため、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めていくもの。

### 2. 締結予定事業者

- (1)株式会社 DESIGN WORKS ANCIENT(令和3年6月22日締結予定)
- (2)タイガー魔法瓶株式会社

### 3. 締結予定事業者のSDGsに向けた取組や行動

#### (1)株式会社 DESIGN WORKS ANCIENT

- マイボトル普及に向けた意識啓発
- 子ども達に向けたスポーツ大会開催を通じてのマイボトル持参の意識啓発
- 未永くご愛用いただける修理可能な商品開発による、廃棄されるボトルの削減
- 海洋プラスチックごみ削減に向けた、清掃活動の実施

#### (2)タイガー魔法瓶株式会社

- 産官学民連携による新たなライフスタイルの実現
  - ・真空断熱ボトルを通じた循環型社会の実現
  - ・行政との協働による使用済みステンレスボトル(ステンレス材)の再資源化モデルの構築
  - ・小 中 高校・大学生に対するエシカル教育・環境教育の支援
  - ・マイボトル普及に向けた意識啓発
- 循環型ビジネスにおけるリーダーシップ、及び、他地域への横展開や情報発信
- 本取組から得られるマーケティングデータを活用した新規事業やサービスの創出



# かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



プラごみゼロ

亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

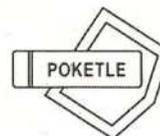
株式会社DESIGN WORKS ANCIENTは、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

## 【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置及び給水スポットの情報発信
- 市内飲食店等に無料給水スポットとなることへの協力の呼びかけ及びその情報発信
- マイボトル持参の意識啓発及びマイボトルにどこでも給水できる新しいエコシステムが可能にする、よりサステナブルなライフスタイルの提案
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

## 【株式会社DESIGN WORKS ANCIENTのSDGsに向けた取組】

- マイボトル普及に向けた意識啓発
- 子ども達に向けたスポーツ大会開催を通じてのマイボトル持参の意識啓発
- 末永くご愛用いただける修理可能な商品開発による、廃棄されるボトルの削減
- 海洋プラスチックごみ削減に向けた、清掃活動の実施



**POKETLE.**  
ONLY THE NECESSARY  
DESIGN WORKS ANCIENT Co.,Ltd.

令和3年6月22日

株式会社DESIGN WORKS ANCIENT  
代表取締役

亀岡市長





# かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境、経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

タイガー魔法瓶株式会社は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

## 【亀岡市の取り組み】

- マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置及び給水スポットの情報発信
- 市内飲食店等に無料給水スポットとなることへの協力の呼びかけ及びその情報発信
- マイボトル持参の意識啓発及びマイボトルにどこでも給水できる新しいエコシステムが可能にする、よりサステナブルなライフスタイルの提案
- 使用済みステンレスボトルの回収システムの構築
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

## 【タイガー魔法瓶株式会社が進めるSDGsに向けた取組や行動】

- 産官学民連携による新たなライフスタイルの実現
  - ・真空断熱ボトルを通じた循環型社会の実現
  - ・行政との協働による使用済みステンレスボトル（ステンレス材）の再資源化モデルの構築
  - ・小中高校・大学生に対するエシカル教育・環境教育の支援
  - ・マイボトル普及に向けた意識啓発
- 循環型ビジネスにおけるリーダーシップ、及び、他地域への横展開や情報発信
- 本取組から得られるマーケティングデータを活用した新規事業やサービスの創出

令和 年 月 日

タイガー魔法瓶株式会社

代表取締役社長

亀岡市長



## マイナンバーカード再発行枚数

令和3年度	5件
令和2年度	69件
令和元年度	35件
平成30年度	26件
平成29年度	18件
平成28年度	10件